

授 業 計 画

科目名 『 生活支援技術Ⅱ 』		講師名 高木 明美
		実務経験 <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
対象学科名 介護福祉士学科 2 年	授業の方法 講義 演習	< 講 義 日 > 木曜日 3 限
[授業の内容] (学習全体の内容) *授業の全体像 尊厳の保持や自立支援、生活の豊かさの観点から、本人主体の生活が継続できるよう、根拠に基づいた介護実践を行うため知識・技術を、繰り返し演習を通して体得していく。 演習は技術の方法の理解を深めるために、グループ単位で行い状況に応じて個別などで進めていく。		
[到達目標] (どこまでのレベルまでを目標としているか) ①健康を維持するための休息や睡眠の重要性を理解し、安眠を促す環境を整える支援について理解できるようにする。 ②人生の最終段階にある人と家族をケアするために、終末期の経過に沿った支援やチームケアについて理解できるようにする。		
[検 証] (学生の理解度を確認する方法) 例) 小テストの実施など。 ・小テスト ・課題の提出		
[使用テキスト・参考文献] *使用した場合のみ 生活支援技術Ⅰ (中央法規) 生活支援技術Ⅱ (中央法規)	[成績評価の方法・基準] ・定期試験の素点8割 ・平常点(出欠席・授業態度・課題提出等)2割 *評価基準は評価記入用紙による。	

回数	授 業 内 容
1	授業への導入・振り返り
2	安楽な姿勢・褥瘡部位
3	安楽な体位（仰臥位・側臥位・長座位・座位）
4	安楽な体位（仰臥位・側臥位・長座位・座位）
5	休息・睡眠の介護
6	休息・睡眠の介護
7	小テスト
8	終末期の介護・看取りについて
9	死についての心理面に対する援助
10	死後処置（エンゼルケア）
11	死後処置（エンゼルケア）
12	小テスト
13	4段階実習前確認
14	振り返り・試験対策
15	前期のまとめ